



編集・発行 湘南希望の郷
〒252-0825 藤沢市瀬戸 1003
TEL0466-48-4500

Index

- 対談：湘南希望の郷30年を語る P1・2 ■ イキイキチャレンジ活動の推進..... P2
- せせらぎ会・家族会 P3 ■ 行事予定・編集後記 P4

対談：湘南希望の郷 30 年を語る



森 施設長

森：湘南希望の郷30周年に当たり、当時を知る人たちから、お話を頂きます。よろしくお願ひいたします。

早速ですが、開所当時の思い出やエピソードなどはありますか？

福田：実は、こんなに長く居るとは思っていなかったんですよね（笑）。初日の夜は3人。疲れなくて、ヘルパーセンターで話してたら、すごい音がして、何かと思ったらいびきだった（笑）。職員も驚いてました。その後も色々なことがありましたね。ゼロからのスタートで、入居者も若いし職員も若いし、でも、旅行とか色々なことが出来てよかったです。

1ヶ月ほどで大半が入居しました。前理事長が、「希望の郷は家なんだから、地域には、自治会があっていい」と言ってくれたことが、今に至っているんですね。そして、前理事長の言う『隔離と管理』からの脱皮が引き継がれているので、過ごしやすく、この30年間ここに居られたんだと思います。

和井田：実は、開所式の1週間前に家族で来ました。とにかく不便な場所だと思いました。来るのに迷いましたね。でも、建物に入ると素晴らしいかったです。そんな記憶があります。

息子を含め訓盲院から数名の方が入りました。私も、この職員さんが若くてすごく張り切っていて、任せられる、大丈夫と思ってお願いすることにしました。

岩屋：開所年度から今も入居している方は13人かな。20歳前後の方が多いです。若い人たちの施設だと感じました。職員も若かった。今、そのころの職員は、私1人。自分はここでもう少し頑張りたいと思っています。

前理事長の思いが実現した施設だと思います。前理事長は確かに50歳を過ぎて学校をお辞めになって、建設の実現に向けた動きをしたと思いますが、自分もその年代を過ぎた今、マネは出来ないなあと、思っています。

当時から、ノーマライゼーションの実現に向けて、障害のある方が地域で、社会で、活躍をしなければならないし、差別も無くさないといけないと盛んに言ってされましたね。30年前から風呂敷を広げていた人がいたから、今、障害者差別解消法が出来たんじゃないかな。そうやって考えると、今の時代に合った施設づくりは我々に託された仕事だと思います。



福田さん



2ページへ続く

森：これから湘南希望の郷に期待すること、10年後どうだったらいな、というのはありますか？

福田：入所した時には、10年後なんて考えられなかつたな。でも、自宅と違って動く範囲が広く

なつたし、行動力がついたし。ここでは、周囲の目は同じだし、外に出ようという楽しみも持てましたね。

ここでは、皆を家族のようだと思っています。入居者同士助け合つたり、職員が親つていうか。楽しさもあり喧嘩もありながら、30年が過ぎましたね。

外に出て、一緒に思い出が作れるような、湘南希望の郷らしさがあつたらいいかな。自己責任は持つながら、ルールも守らないといけない部分もあって、楽しく過ごせる10年であつてほしい。色々な意味で先は見えないけど、ここで生活してみたいと思っています。

和井田：ご家族の協力が欲しいです。湘南希望の郷の施設が柱としてあって、家族がくつづいていく。それが今まで役割と思ってやってきました。法律が変わる前は、施設の方から連絡があれば協力しなきゃという思いがあって、「旅行に行きましょう」という話があると、「じゃあ手伝いに行こう」という方もいたしね。一緒に行って一晩中起きてたこともあったよ。いろいろな部分で法律や時代が変わつてしまつて、これからどう変わらるのかという心配も、もちろんあるんですよ。



和井田さん

岩屋：親の立場で考えると、やはり先は不安だと思う。順番でいえば、親の方が先に人生を終えてしまうんだから。自分がいなくなつた時にどれだけ子供が安心して生活できるのかすごく心配になりますよね。そういう精神的に安心してもらえる環境を、この10年で出来たらいいと思う。

和井田：実はその通りなんだよ。いつも考えますね。

岩屋：最近は、当事者の人権を守るために、後見人制度や計画相談など第3者が関わるというルール作りも出来ていて、見通しも明るいのかと思つたりもしますけどね。

ここに30年いると、当初やっていたことが、最近なかなかできていないように感じます。自分たちなりに自己チェックをしていかないといけないと思うし、ご家族にも指摘していただきながら、これから10年一緒にいいものを作つていけたらいいなと思います。



岩屋さん

森：施設のハード面、ソフト面、家族の思い、これらの思いを偏りがなく、うまく集めていくと太くなつていく。そこを築き上げていくことが大切。自分の役割はそこをまとめることだと思っています。この31年目をリストートとして、ご意見をいただきながら、次の10年を充実させたいと思います。本日はありがとうございました。

イキイキチャレンジ活動の推進

イキイキチャレンジ活動が始まって3年目になります。希望の郷は敷地も広いし、30年という少々老朽化した環境の中で、少しでもさわやかな雰囲気作りをしたいと頑張っています。まずは、みんなの笑顔からですし、声を掛け合つて今日もきれいに、の意識が大切です。和やかで、清潔感のある施設を目指して今年度もスタートです。

28年度希望の郷活動テーマ

さわやか声掛け、いっぱい笑顔の希望の郷



28年度希望の郷活動

1. 整理・整頓・清掃・シンプル(4S活動)の推進活動として「キレイキレイデー」の実施
2. 「希望チャレンジ賞」の実施
3. 出入り口の整頓及び花壇整備
4. 居住棟の整理・整頓・清掃の強化
5. 職員の健康管理(腰痛対策等)の強化



◆せせらぎ会◆

六月(水無月)。そろそろ梅雨入りも間近。



郷の周辺でも、新緑を背景に赤や青の耕運機が、渴いた土を耕し働いている。やがて、河川から引き入れた水が、光の鏡となって瀬郷の田園風景を復活させる。また近年、近くを流れる小出川の「紫陽花まつり」は、秋の「彼岸花まつり」と同様に、四季を彩る風物詩として、地域の人達に親しまれている。

1986年6月1日。長閑な、初夏の風に包まれて、「湘南希望の郷」は、この地で産声を上げた。「障害者の隔離と管理からの解放」を旗印に、高邁な理念を掲げた「身体障害者療護施設」は、全国的にも常に異彩を放つ存在で、施設改革をリードして来た。

今年度、やっと施行された、「障害者差別解消法」の、なまぬるい実効性を考えれば、30年前に、それを実践に移した、故五十嵐光雄理事長の福祉事業が、いかに革新的で先見性に富んでいたかが伺い知れる。

新時代が求めた、福祉制度改革の一隅で、旧態依然とした収容型の「療護施設」は、その呼称と共に、時代の使命を終えた。

今月、湘南希望の郷は、開所30周年を迎えた。それは同時に、故五十嵐理事長の肝いりで発足した、住人の自治会「せせらぎ会」の誕生日もある。いま、「障害者生活支援施設」としての立場で、新たな郷づくりにあたり、念頭に置くべき事は、原点の理念を踏まえた、住人のQOL(生活の質)の向上と、地域に根ざした、開かれた施設の構築ではないだろうか。(石原 生美夫)



◆湘南希望の郷 家族部会の皆さまへ◆

家族部会長 眞鍋 直規

新緑、薰風。1年中で1番気持ちの良い時期です。30年前のこんな時期に、希望に燃え、「湘南希望の郷」を立ち上げられたのではないでしょうか。30周年、おめでとうございます。

2006年に国連総会で『障害者権利条約』が採択されましたが、日本国は法整備が不十分だったため、2014年まで批准を承認されませんでした。その法整備最後の法律が、この4月1日に施行された『障害者差別解消法』です。しかし、光友会では約40年前すでに、同様なことが「基本理念」として謳われていた訳です。少し硬い話になってしましましたが、過去の流れを振り返ってみて、皆さんと一緒に湘南希望の郷あるいは光友会そして家族部会の将来を考えていってみませんか。

さて、利用者を始め、近隣の皆さまには好評な「太陽の家まつり」が6月5日(日)に開催されます。家族部会では焼きそばの模擬店を出店しますが、焼きそば作りには、思いの外の労力を必要とします。女性だけでなく、腕力ある男性の方もご協力、宜しくお願ひ致します。

<6月～7月の行事予定>

◆6月5日(日) 9:30～13:00

太陽の家まつり。

場所：太陽の家。模擬店出店。

焼きそば作り、販売。

◆7月4日(月) 10:30～12:00

家族部会第2回定例会。

場所：湘南希望の郷2階会議室。

ふくし村まつり担当決め。

模擬店準備打合せ。

大型連休に映画鑑賞会

5月4日(水)午後、映画鑑賞会を行いました。これは昨年のシルバーウィークより、連休中に何か楽しめるイベントをやって欲しいという入居者からの要望を受けて、実施したものです。今回は「釣りバカ日誌8」を上映いたしました。また「聴いて楽しめるもの」として、「まんが日本昔ばなし」のCDを聴きました。

前回の映画「男はつらいよ」も好評でしたが、今回も入居者の皆さんに楽しんでいただくことができたように思います。ご協力ありがとうございました。

アクティビティ 高島



◆サロンあすみ◆



5月21日
(土) 希望の郷レストランにて、「あすみの会」による演奏会が行われました。年に4

回開かれるということもあり、利用者の皆様も楽しみにしておりました。

今回はピアノ伴奏による合唱で、最初は「翼を広げて」の曲ではじまり、ある利用者の方はステージ前に出てきて、曲に合わせ踊りを見せて頂く等、会場が大いに盛り上がりました。和やかな雰囲気のまま進行され、合間にはティータイムやリクエストコーナーもあり、笑顔あふれる空間となりました。ラストは利用者の皆様と「今日の日はさようなら」を合唱して、「あすみの会」による全12曲による演奏が終了し、拍手喝采で幕を閉じることができました。次回もどんな演奏会をして頂けるのか、利用者の皆様と共に楽しみにしたいと思います。

「あすみの会」の皆様、貴重なお時間をありがとうございました。



◆6月の予定◆



健康課より

湘南第一病院 次田 Dr. 来診 6日・17日
御所見病院 多田隈 Dr. 来診 8日
藤沢病院 石井 Dr. 来診 9日
厚誠会歯科来診
7日・14日・21日・28日

行 事

献立委員会 15日
中里小交流会 10日
ローリングバレーボール交流大会 11日
ハーモニカ交流会 24日
住人生活会議 30日

◎ ボランティア募集

今年も希望の郷花火大会を開催予定です。つきましてはボランティアに協力していただける方2名を募集致します。男女どちらでもかまいません。日時は8月6日(土)、19時からです。締切は7月6日です。ご協力よろしくお願いします。
連絡先は希望の郷本館の広田まで。



希望通信のリニューアル2号目になります。編集委員会が結成され、動き出しました。記事を依頼された方には、たどたどしい説明にもかかわらず快く聞き入れてください、感謝しています。今後は、入居者の方たちに沢山お願いしていきたいと思っています。「こんなことがあった」「知ってほしいな」「作品ができあがった」などがあれば、ぜひ取材をさせてください。(Y.N)